

実務経験のある教員等による授業科目の一覧表 2023

サービス経営学部 サービス経営学科

授業科目名	担当者	単位数	実務経験
エアライン実務論	服部 裕美子	2	国際線客室乗務員として、日本航空株式会社に約10年勤務。フライトタイム累計6,142時間。通常の定期便以外にも数多くの特別便(首相フライトや招待フライト)などを担当し、要人接遇の経験を積んだ。実務経験に基づき、世界のエアライン・サービスの現状とその趨勢、航空業界の実務とオペレーションについて理論と実践の融合を図っている。
エアライン・サービス論	馬場 哲也	2	航空会社に勤務。空港旅客業務や本社経営企画を担当。実務経験をもとにエアライン・サービスの特性について理論と実践の融合を図っている。
エアライン・ビジネス論	馬場 哲也	2	航空会社に勤務。空港旅客業務や本社経営企画を担当。実務経験をもとにエアライン・ビジネスの特性について理論と実践の融合を図っている。
ホテル・旅館経営論	馬場 哲也	2	航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとにホテル運営・ホテル経営について理論と実践の融合を図っている。
ホテル・フードサービス論	馬場 哲也	2	航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとにホテル・フードサービスについて理論と実践の融合を図っている。
ホテル・フード実務論	馬場 哲也	2	航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとにホテル・フード実務について理論と実践の融合を図っている。
MICEビジネス論	馬場 哲也	2	航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとに展覧会、国際会議、博覧会、スポーツ、文化イベントなどの多彩なMICE領域について理論と実践の融合を図っている。
コンシェルジュ論	富樫 文予	2	株式会社帝国ホテルに勤務。ホテル統括マーケティング部門・宿泊部門を担当。ゲストリレーションズ支配人などの経験をもとに、ホテルのホスピタリティやそれを支える組織や人材について理論と実践の融合を図っている。
ホテル・フードサービス論	富樫 文予	2	株式会社帝国ホテルに勤務。ホテル統括マーケティング部門・宿泊部門を担当。ゲストリレーションズ支配人などの経験をもとに、ホテル・フードサービスについて理論と実践の融合を図っている。
広告論	金澤 良昭	2	電機メーカーに勤務し広告・広報・販売促進などの業務を担当。実務経験をもとに広告について理論と実践の融合を図っている。
マーチャンダイジング論	小玉 武生	2	株式会社西武百貨店に勤務。婦人服のマーチャンダイジングや商品企画を担当。実務経験をもとにマーチャンダイジングや商品企画について理論と実践の融合を図っている。
金融論	松澤 祐介	2	日本銀行に勤務。金融政策運営、金融市場、外為市場、企業動向の調査等に従事。実務経験をもとに、銀行業、金融政策運営、金融市場について理論と実践の融合を図っている。
国際金融論	松澤 祐介	2	日本銀行に総合職として勤務。国際局、調査統計局、企画室等で金融政策、金融市場等に関する調査を担当。実務経験をもとに国際金融の仕組み、政策対応等について話をします。
観光サービス論	波瀾 郁代	2	株式会社JTBおよび株式会社JTB総合研究所に勤務。旅行商品の販売促進、広報実務、観光マーケティングに従事。JTBが50年以上発表し続けている、夏休み、年末年始、年間の旅行推計を15年以上担当。生活者のライフスタイルや価値観の変化による観光の変化を研究するとともに、国や自治体の交通政策や自治体の総合計画や観光ビジョンの有識者委員や公的団体のまちづくりの専門官を務めた。実務経験をもとに、観光サービスの理論と実践の融合を図っている。

授業科目名	担当者	単位数	実務経験
観光まちづくり論	波潟 郁代	2	株式会社JTBおよび株式会社JTB総合研究所に勤務。旅行商品の販売促進、広報実務、観光マーケティングに従事。JTBが50年以上発表し続けている、夏休み、年末年始、年間の旅行推計を15年以上担当し、生活者のライフスタイルや価値観の変化を研究するとともに、自治体の総合計画や観光ビジョンの有識者委員や公的団体のまちづくりの専門官を務めた。実務経験をもとに、観光まちづくりの特性について理論と実践の融合を図っている。
観光資源論	波潟 郁代	2	株式会社JTBおよび株式会社JTB総合研究所に勤務。旅行商品の販売促進、広報実務、観光マーケティングに従事。JTBが50年以上発表し続けている、夏休み、年末年始、年間の旅行推計を15年以上担当。生活者のライフスタイルや価値観の変化による観光の変化を研究するとともに、自治体の総合計画や観光ビジョンの有識者委員や公的団体のまちづくりの専門官を務めた。実務経験をもとに観光資源の理論と実践の融合を図っている。
観光実務論	波潟 郁代	2	株式会社JTBおよび株式会社JTB総合研究所に勤務。旅行商品の販売促進、広報実務、観光マーケティングに従事。JTBが50年以上発表し続けている、夏休み、年末年始、年間の旅行推計を15年以上担当。コロナ禍の3年間における旅行の変化を各種データや意識調査から研究した。実務経験をもとに、観光実務の理論と実践の融合を図っている。
ニューツーリズム論	波潟 郁代	2	株式会社JTBおよび株式会社JTB総合研究所に勤務。旅行商品の販売促進、広報実務、観光マーケティングに従事。JTBが50年以上発表し続けている、夏休み、年末年始、年間の旅行推計を15年以上担当。生活者のライフスタイルや価値観の変化による観光の変化を研究するとともに、自治体の総合計画や観光ビジョンの有識者委員や公的団体のまちづくりの専門官を務めた。実務経験をもとにニューツーリズムの特性について理論と実践の融合を図っている。
合計		36	

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	有
授業科目 (英名)	エアライン実務論 (Practices in Airline Business)						
担当教員名	服部 裕美子 (◎は科目責任者)						
<p>[授業の概要] 観光におけるエアラインの位置づけを概観します。エアライン業界の特徴や、各職種の業務を学ぶことで「顧客の満足や感動の向上」を実現するために、エアライン各社がどのようなサービスを提供しているかを明らかにします。世界的規模で推進されるネットワーク構築の拡大と顧客サービスの関わり、更にアライアンスを基軸とした観光業界全体の再編に繋がる大きな流れも把握します。またエアライン業界は、世界の政治・経済・気候・病疫等のイベントリスクにさらされています。世界の動向を把握する為に、受講生には毎週、観光やエアラインに関するニュースレポート (1枚@A4) が課せられます。</p> <p>[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー (3) すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。特に、観光の振興に寄与する人材-エアラインの最前線でサービスに従事する人材育成のための基礎科目です。時代の変化に伴い顧客のニーズも大きく変化し、エアラインのサービスも多様化していますが、観光立国を標榜する日本において、エアラインの果たすべき役割と使命はますます大きく期待されています。「おもてなし」を体現できる、世界に通用するエアラインスタッフになるための基礎知識の修得が主たる目的ですが、エアライン以外のホスピタリティ業界をめざす受講生にとっても、同様に有意義であると思われます。</p> <p>[到達目標] (1) 観光におけるエアラインの役割や位置づけ、エアラインのサービス体系を理解し、エアラインスタッフに必要な業界の基礎知識を説明できる。 (2) 世界のエアラインの中から特に興味を持った会社について課題に沿ってリサーチをして、発表ができる。 (3) 世界の政治・経済・気候・病疫等のイベントリスクと観光や航空業界の動向との関係を把握し、業界の課題を述べるができる。</p>							
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者		
1	エアラインを取り巻く環境と観光業界における役割	事前学修 (90分) : シラバスをよく読み、この授業の趣旨・内容、評価方法を確認する 事後学修 (90分) : 指定の設問に回答しAAAに提出する			服部裕美子		
2	エアラインの歴史と現代的使命 : エアラインの誕生から現代のエアライン業界の動向までを学びます	事前学修 (90分) : エアラインの始まりについて指定書式に回答しAAAに提出する。 事後学修 (90分) : 指定の設問に回答しAAAに提出する			服部裕美子		
3	世界の航空機その構造と機種 : 飛行理論について理解を深め、世界二大航空機メーカーについて学びます	事前学修 (90分) : 世界の二大航空機メーカーについて指定書式に回答しAAAに提出する。 事後学修 (90分) : 指定の設問に回答しAAAに提出する			服部裕美子		
4	世界の空港とその機能 : 空港の基本的な設備と機能を学びます。主たる空港コードを覚えます。	事前学修 (90分) : 世界の空港を3か所選び指定書式に回答しAAAに提出する。 事後学修 (90分) : 指定の設問に回答しAAAに提出する			服部裕美子		
5	エアラインの業務とそのサービス : ツーリズム産業のなかでエアラインが担っている役割と提供するサービスについて学びます	事前学修 (90分) : エアラインのサービスについて調べる 事後学修 (90分) : 指定の設問に回答しAAAに提出する			服部裕美子		
6	エアラインの職種とその仕事 : 航空会社の中にある多種多様な職種・仕事と、その連携について学びます	事前学修 (90分) : エアラインの職種について指定書式に回答しAAAに提出する。 事後学修 (90分) : 指定の設問に回答しAAAに提出する			服部裕美子		
7	グランドスタッフの業務と適性 : 空港の花形職種であるグランドスタッフの具体的な仕事と流れ、求められる適性を学びます	事前学修 (90分) : グランドスタッフの仕事内について指定書式に回答しAAAに提出する。 事後学修 (90分) : 指定の設問に回答しAAAに提出する			服部裕美子		
8	客室乗務員の業務と適性 : エアラインの花形職種である客室乗務員の具体的な仕事と流れ、求められる適性を学びます	事前学修 (90分) : 客室乗務員の仕事内容について指定書式に回答しAAAに提出する。 事後学修 (90分) : 指定の設問に回答しAAAに提出する			服部裕美子		
9	空港見学に関する事前研修 : 見学当日の流れと、注意点を説明します。グループに分かれて当日の役割分担をします。	事前学修 (90分) : 空港見学事前課題について指定書式に回答しAAAに提出する。 事後学修 (90分) : 指定の設問に回答しAAAに提出する			服部裕美子		
10	羽田空港見学 : 計画書に従って、第1から第3ターミナルを探索します。	事前学修 (90分) : 空港見学課題レポート下調べをする 事後学修 (90分) : 空港見学課題レポート作成			服部裕美子		
11	世界のエアラインとアライアンス : 世界の主たるエアラインを把握し、アライアンスによる業界のグループ分けが進んでいることを学びます。 エアラインコードを覚えます。	事前学修 (90分) : 三大アライアンスについて指定書式に回答しAAAに提出する。 事後学修 (90分) : 指定の設問に回答しAAAに提出する			服部裕美子		
12	航空会社研究 1 : 航空会社に関する研究発表をグループ単位で行います	事前学修 (90分) : 日本の航空会社2社について指定書式に回答しAAAに提出する。 事後学修 (90分) : 指定の設問に回答しAAAに提出する			服部裕美子		

13	航空会社研究2： 航空会社に関する研究発表をグループ単位で行います	事前学修（90分）：海外の航空会社2社について指定書式に回答しAAAに提出する。 事後学修（90分）：指定の設問に回答しAAAに提出する	服部裕美子
14	航空会社研究3： 航空会社に関する研究発表をグループ単位で行います	事前学修（90分）：エアラインの各種ランキングについて指定書式に回答しAAAに提出する。 事後学修（90分）：指定の設問に回答しAAAに提出する	服部裕美子
15	エアライン知識のまとめ： これまでの知識を整理し、課題に取り組みます	事前学修（90分）：選択したテーマについて指定書式に回答しAAAに提出する。 事後学修（90分）：最終課題レポート作成	服部裕美子
成績評価の方法と基準		授業参画度（30%）、提出課題（30%）、期末試験（40%）により総合的に判断します。	
履修上の留意点		①エアラインの仕事は、世界の政治・経済と密接な関係で成り立っています。新聞や経済誌を読み、時事問題や世界情勢を把握しておく必要があります。 ②第5回目「エアラインの業務とそのサービス」の回で、業界で活躍中のゲスト講師を招く場合があります。現場の状況をアップデートするためです。 ③講義内容の理解促進のために羽田空港見学を実施する予定です。空港見学の交通費は、各自負担になります。日程の詳細は別途指示しますが、通常の授業曜日以外（土日祝）に実施する予定です。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		この科目は、サービス経営学部のディプロマポリシー（1）（2）（3）と関連します。特に（1）との関与度が高い科目です。	
教科書		『航空知識のABC』イカロス出版、2020年	
参考書・参考資料		授業内で、随時紹介します。	
学生との連絡方法		AAAを使用します。詳細は初回の授業で説明します。	
実務経験科目		実務経験科目に該当する。国際線客室乗務員として、日本航空株式会社に約10年勤務。フライトタイム累計6,142時間。通常の定期便以外にも数多くの特別便（首相フライトや招待フライト）などを担当し、要人接遇の経験を積んだ。実務経験に基づき、世界のエアライン・サービスの現状とその趨勢、航空業界の実務とオペレーションについて理論と実践の融合を図っている。	

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目 (英名)	エアライン・サービス論 (Airline Service)						
担当教員名	馬場 哲也 (◎は科目責任者)						
<p>[授業の概要] 国際線エアラインのサービスを軸に、基本的なサービスを概観します。エアライン業界の特性や各職種の業務を学ぶことでエアラインがどのようなサービスを提供しているのかを明らかにします。また、世界の主要文化や慣習について、日本との相違点を通じて異文化理解を深めます。</p> <p>[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー (3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。 エアラインのサービス全体の流れや特徴を軸に、各種業務やスタッフの業務特性、航空運送に関わる役割、サービス内容等を理解します。更に異文化対応の基本を学び、国際文化についても理解を深めます。</p>							
<p>[到達目標] (1) エアライン・サービスビジネスの基本的な知識を修得する。 (2) エアライン・サービスビジネスについて修得・考察した結果を実践的に表現することができる。</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション、シラバスの説明			事前学修 (90分) : 日本のエアラインにはどのような企業があるのか調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
2	国際線の航空路線			事前学修 (90分) : 国際線の航空路線を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
3	日本のエアラインの分類			事前学修 (90分) : エアラインの分類を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
4	エアラインの客室・クラス別仕様			事前学修 (90分) : エアラインの客室クラスを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
5	空港の旅客動線			事前学修 (90分) : 空港の旅客動線を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
6	空港の業務・職種・グランドハンドリング			事前学修 (90分) : 空港の業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
7	空港の機能と業務			事前学修 (90分) : 空港の機能を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
8	まとめ			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
9	グランドスタッフの業務			事前学修 (90分) : エアラインの地上業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
10	客室乗務員の業務 (Cabin Attendant) ①			事前学修 (90分) : 客室乗務員の業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
11	客室乗務員の業務 (Cabin Attendant) ②			事前学修 (90分) : 客室乗務員の業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
12	国際文化・慣習			事前学修 (90分) : 国際文化・慣習を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
13	世界の食文化と機内食			事前学修 (90分) : 機内食を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
14	LCCの特徴とサービス			事前学修 (90分) : LCCについて調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
15	まとめ			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
成績評価の方法と基準	授業貢献度10%、毎授業後のコメント票10%、試験80%の要素を総合的に評価します。						
履修上の留意点	ニュースや新聞等で、常日頃から、航空関係・サービスのあり方・国際関係に意識して動向を理解していく習慣をつけることを勧めます。						

ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)、(2)に関連しています。
教科書	使用しません。
参考書・参考資料	稲本恵子編 晃洋書房 「エアライン・ビジネス入門」(第2版) 2021年
学生との連絡方法	AAAを使用します。
実務経験科目	実務経験科目に該当する。航空会社に勤務。空港旅客業務や本社経営企画を担当。実務経験をもとにエアライン・サービスの特性について理論と実践の融合を図っている。

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	3年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目 (英名)	エアライン・ビジネス論 (Airline business)						
担当教員名	馬場 哲也 (◎は科目責任者)						
<p>[授業の概要]</p> <p>エアライン産業に関わる基本的な知識、ビジネス特性、ビジネス環境の実務知識を習得し、更には公共交通機関としての使命も理解します。また、航空を通して国際文化とは何かを把握します。</p> <p>[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)]</p> <p>この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。</p> <p>エアライン業界の基本的な概念を理解し、業界の特性、動向等を理解すると共に、エアラインビジネスに関する知識を深め、国際文化についても理解を深めます。</p> <p>[到達目標]</p> <p>(1) エアラインビジネスの基本的な知識を修得する。 (2) エアラインビジネスについて適切な手段によって適切に表現することができる。 (3) エアラインビジネスの事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。 (4) エアラインビジネスの課題を発見し、問題を解決する能力等の思考力を身につける。</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション、シラバスの説明			事前学修 (90分) : 教科書の「はしがき」「第1章」を読んでおく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
2	日本のエアラインの分類			事前学修 (90分) : エアラインの分類を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
3	エアラインのサービス概観			事前学修 (90分) : エアラインのサービスを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
4	空港の旅客動線と業務			事前学修 (90分) : 空港の旅客動線を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
5	日本と世界の空港			事前学修 (90分) : 空港の機能を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
6	航空運賃とマイルージ			事前学修 (90分) : 航空運賃の種類を調べておく 事後学修 (90分) : リントプリント・ノートを確認・理解		馬場	
7	旅客機の特性と空域、空路			事前学修 (90分) : 旅客機について調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
8	まとめ			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
9	客室乗務員の業務 (Cabin Attendant) ①と演習			事前学修 (90分) : Cabin Attendant の業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
10	客室乗務員の業務 (Cabin Attendant) ②と演習			事前学修 (90分) : Cabin Attendant の業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
11	交通機関としての航空の特性			事前学修 (90分) : 航空の特性を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
12	航空産業の特性			事前学修 (90分) : 航空産業の特性を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
13	国際文化・慣習と機内食			事前学修 (90分) : 国際文化・慣習を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
14	大手航空とLCC			事前学修 (90分) : LCCについて調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
15	まとめ			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	

成績評価の方法と基準	授業貢献度10%、毎授業後のコメント票10%、試験80%の要素を総合的に評価します。
履修上の留意点	ニュースや新聞等で、常日頃から、航空関係・サービスのあり方・国際関係に意識して動向を理解していく習慣をつけることを勧めます。
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)、(2)、(3)、(4)と関連しています。特に(4)との関連が高い科目です。
教科書	稲本恵子編 晃洋書房 「エアライン・ビジネス入門」(第2版) 2021年
参考書・参考資料	
学生との連絡方法	AAAを使用します。
実務経験科目	実務経験科目に該当する。航空会社に勤務。空港旅客業務や本社経営企画を担当。実務経験をもとにエアライン・ビジネスの特性について理論と実践の融合を図っている。

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目 (英名)	ホテル・旅館経営論 (Hotel and Ryokan Japanese Inn Management)						
担当教員名	馬場 哲也 (◎は科目責任者)						
[授業の概要] 「ホテル業」の歴史、海外・国内の主要ホテルの特徴や経営運営を理解し、また日本独特の「旅館業」の経営運営を考察することにより「宿泊産業」の経営の全体像を把握し知識を深めます。							
[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。 「ホテル業」と「旅館業」は「宿泊産業」の両輪として観光業と密接に関連して重要な位置を占めています。ホテルと旅館の経営について知識を習得します。							
[到達目標] (1) ホテル・旅館の経営について基本的な知識を修得する。 (2) ホテル・旅館の経営について適切な手段によって適切に表現することができる。 (3) ホテル・旅館の経営事象の考察や実践に積極的に活用しようとする。							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション、シラバス説明、国内宿泊産業の動向			事前学修 (90分) : 行ったことのあるホテルを具体的に考えてみる 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
2	ホテル業の概観・機能			事前学修 (90分) : ホテル業について調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
3	ホテルの職種 外資系ホテル			事前学修 (90分) : 日本と世界のホテルを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
4	宿泊業の特徴			事前学修 (90分) : ホテルの分類を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
5	ホテルの人材・ホテルの再生			事前学修 (90分) : ホテルの人材を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
6	ホテルの経営形態			事前学修 (90分) : ホテルの経営形態を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
7	旅館業の概要			事前学修 (90分) : ホテルチェーンを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
8	中間のまとめ			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
9	旅館・温泉の概観			事前学修 (90分) : 旅館について調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
10	宿泊業の概観			事前学修 (90分) : ホテルと旅館の差を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
11	宿泊業の法律・規制・IT化			事前学修 (90分) : 宿泊業の法律について調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
12	宿泊業の経営指標・許認可			事前学修 (90分) : 宿泊業の許認可について調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
13	ホテル・旅館の格付け評価			事前学修 (90分) : ホテルの格付けを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
14	ホテル・伝説のサービス			事前学修 (90分) : 伝説のサービスを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
15	まとめ			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
成績評価の方法と基準 授業貢献度10%、毎授業後のコメント票10%、試験80%の要素を総合的に評価します。							

履修上の留意点	ニュースや新聞等で、常日頃から、航空関係・サービスのあり方・国際関係に意識して動向を理解していく習慣をつけることをお勧めします。
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)と(2)と(3)と関連しています。特に(1)との関連が高い科目です。
教科書	使用しません。
参考書・参考資料	土井久太郎著『よくわかるホテル業界』日本実業出版社2009年
学生との連絡方法	AAAを使用します。
実務経験科目	実務経験科目に該当する。航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとにホテル運営・ホテル経営について理論と実践の融合を図っている。

授業形態	開講学部	サービス経営学部	選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	前期	ディスカッション	無	学外授業
授業科目（英名）	ホテル・フードサービス論（Lodging and Food Service Industry）					
担当教員名	馬場 哲也 (◎は科目責任者)					

〔授業の概要〕

ホテル産業に関わる基本的な知識の習得、フードサービスの実務知識を習得します。

〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕

この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。ホテル経営、レストラン経営の特徴を理解し、ホテルの重要な機能でもあるフードサービスの知識を学び、基本的な仕組みを修得します。

〔到達目標〕

- ホテルおよびフードサービスの経営形態、社会的機能、使命、人材育成、サービス基準・評価等の特徴を説明できる。
- ホテルにおける運営上の課題、人材資源、およびフードサービスにおける食文化の特徴を整理・分析し、適切に表現することができる。
- ホテルおよびフードサービス経営の観点から、とりわけ利用者側の視点に立ってサービス品質・事象を考察し問題解決策を検討することができる。

回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)	担当者
1	オリエンテーション、シラバス説明	事前学修（90分）：行ったことのあるホテルを具体的に考え出しておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
2	ホテル概観 ホテルの使命	事前学修（90分）：ホテルの使命にはどのようなものがあるか調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
3	ホテルの機能 ホテル組織	事前学修（90分）：ホテルの機能にはどのようなものがあるか調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
4	ホテルの人材	事前学修（90分）：ホテルにはどのような人材がいるのかを調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
5	ホテルの分類	事前学修（90分）：ホテルにはどのような分類があるのかを調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
6	外資系ホテル ホテルブランド	事前学修（90分）：外資系ホテルはどのようなホテルがあるのか調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
7	ホテル経営形態	事前学修（90分）：ホテルの経営にはどのような形態があるのか調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
8	中間のまとめ	事前学修（90分）：今までのまとめをしておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
9	レストランの種類	事前学修（90分）：レストランにはどのような種類があるのか調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
10	和食の理解	事前学修（90分）：和食の特徴を調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
11	和食コース 文化 マナー	事前学修（90分）：和食のコースについて調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
12	中華料理 文化	事前学修（90分）：中華料理について調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
13	フランス コース料理 文化	事前学修（90分）：フランス料理について調べておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場
14	フードサービスまとめ	事前学修（90分）：フードサービス全体についてまとめておく 事後学修（90分）：プリント・ノートを確認・理解	馬場

15	総まとめ	事前学修(90分)：全体をまとめておく 事後学修(90分)：プリント・ノートを確認・理解	馬場
成績評価の方法と基準	授業貢献度10%、毎授業後のコメント票10%、試験80%の要素を総合的に評価します。		
履修上の留意点	ニュースや新聞等で、常日頃から、ホテルやフードサービスのあり方を意識して動向を理解していく習慣をつけることをお勧めします。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)～(3)と関連しています。		
教科書	使用しません。		
参考書・参考資料	日本ホテル教育センター「ホテルビジネス(基礎編)」2014年 土井久太郎著「よくわかるホテル業界」日本実業出版社2009年		
学生との連絡方法	AAAを活用します。		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとにホテル・フードサービスについて理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目 (英名)	ホテル・フード実務論 (Practice in Hotel and Food Service)						
担当教員名	馬場 哲也 (◎は科目責任者)						
[授業の概要] 本講義は、サービスの定義、ホテル関連部門の業務、宿泊業の現状などを学修し、ホテルを始めとするサービス業の実務やマネジメントの基礎の理解を深めることを目標とします。							
[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。本講義では、サービス経営の基盤となるホテルや料飲部門の実務の基本および付加価値を高めるサービスの意義を学び、今後の専門科目を履修するうえで必要な基礎知識を身につけます。							
[到達目標] (1) ホテルや関連部門の業務を具体的、かつ体系的に理解し、説明することができる。 (2) ホテルやフードサービスにおける、質の高いサービスを提供するための思考力、判断力、コミュニケーション力を修得し、説明することができる。							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	オリエンテーション、シラバス説明			事前学修 (90分) : ホテルの仕事内容をイメージしてみる。 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
2	ホテルの業務の理解 ホテルの歴史 ホテルの定義			事前学修 (90分) : ホテルの業務にはどのようなものがあるか調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
3	ホテル業の特徴 ホテルの形態と種類			事前学修 (90分) : 宿泊業の現状を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
4	ホテルの実務1 ホテルの部門と基本業務			事前学修 (90分) : ホテルの基本業務を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
5	ホテルの実務2 宿泊部門			事前学修 (90分) : 宿泊業の特徴を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
6	ホテルの実務3 料飲部門			事前学修 (90分) : ホテルの経営指標を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
7	ホテルの実務4 宴会部門ほか			事前学修 (90分) : ホテルの収支を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
8	中間のまとめ			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
9	和食の理解			事前学修 (90分) : 和食の特徴を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
10	和食 コース 文化 マナー			事前学修 (90分) : 和食コース料理を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
11	中華料理 コース 文化			事前学修 (90分) : 中華コース料理を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
12	フレンチ コース 文化 マナー1			事前学修 (90分) : フランス料理を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
13	フレンチ コース 文化 マナー2			事前学修 (90分) : フレンチコース料理を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
14	フードサービスのまとめ			事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
15	総まとめ			事前学修 (90分) : 今までの総まとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解		馬場	
成績評価の方法と基準	授業貢献度10%、毎授業後のコメント票10%、試験80%の要素を総合的に評価します。						
履修上の留意点	・前期「ホテル・フードサービス論」を履修していることが望ましい。 ・ニュースや新聞等で、常日頃から、ホテルやフードサービスのあり方を意識して動向を理解していく習慣をつけるとうれい。						

ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)と(2)と(3)と関連しています。
教科書	使用しません。
参考書・参考資料	日本ホテル教育センター『新ホテル総論』、日本ホテル教育センター、2015 日本ホテル教育センター『レストラン業務の基礎』、日本ホテル教育センター、2018 日本ホテル教育センター『テーブルマナーの基本』、日本ホテル教育センター、2006
学生との連絡方法	AAAを使用します。
実務経験科目	実務経験科目に該当する。航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとにホテル・フード実務について理論と実践の融合を図っている。

授業形態	開講学部	サービス経営学部	選択	2単位	講義		
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目 (英名)	MICEビジネス論 (MICE Business)						
担当教員名	馬場 哲也						(◎は科目責任者)
[授業の概要] MICEについて正確な知識を習得するとともに、企画から実施に至るMICE関連産業の組み合わせ、日本におけるインバウンド政策とMICEの関係を理解する。							
[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー (3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。 MICEとは、M (meeting)、I (Incentive)、C (Convention)、E (Event/Exhibition) の要素から成り、政府は2008年観光庁を設立し本格的にMICEの推進を開始した。本講座は、展示会、国際会議、博覧会、スポーツ・文化イベントなどの多彩なMICEの領域を、その歴史や概念から関連産業分野まで幅広く学習する。							
[到達目標] (1) MICEビジネスの基本的な内容とIR(Integrated Resort)を説明することができる。観光におけるインバウンドとプロモーションの視点から、MICEの重要性や機能、波及効果、IRを説明することができる。 (2) 日本におけるMICEの現状と課題について、インバウンドとプロモーションを含めて、明確に説明することができる。							
回	授業計画		授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者		
1	オリエンテーション、シラバス説明		事前学修 (90分) : MICEとは何か、その意味・意義は何か等、を調べておく。 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解				
2	イベント・コンベンションの歴史、MICEの意義		事前学修 (90分) : 2021年東京オリンピックの開催に至る経緯を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解				
3	イベント・コンベンションの仕組み、世界のMICE施設		事前学修 (90分) : イベント・コンベンションの開催場所となるリゾートホテルの施設等を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解				
4	日本の観光政策とMICE		事前学修 (90分) : 訪日外国人に関する日本の観光政策を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解				
5	ミーティングの運営実務		事前学修 (90分) : ホテル等でのミーティング費用等を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解				
6	オリンピック効果、コンベンション誘致施策		事前学修 (90分) : MICE施設にはどのような施設・企画が必要か調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解				
7	MICEがもたらす経済効果		事前学修 (90分) : MICEの経済効果とはどのようなものかを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解				
8	中間まとめ		事前学修 (90分) : 今までのまとめをしておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解				
9	コンベンション1、プロモーションについて		事前学修 (90分) : コンベンションのプロモーション事例を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解				
10	コンベンション2、一般観光との違い		事前学修 (90分) : コンベンションが一般観光とどう異なるかを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解				
11	インセンティブツアー企画・運営		事前学修 (90分) : インセンティブツアーとは何かを調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解				
12	観光競争力について		事前学修 (90分) : 観光競争力の定義を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解				
13	IR(Integrated Resort)について		事前学修 (90分) : カジノについて日本での法案検討状況を調べておく 事後学修 (90分) : プリント・ノートを確認・理解				

14	東京オリンピックとMICE	事前学修(90分):1964年の東京オリンピックについて調べておく 事後学修(90分):プリント・ノートを確認・理解	
15	まとめ	事前学修(90分):今までのまとめをしておく 事後学修(90分):プリント・ノートを確認・理解	
成績評価の方法と基準		授業貢献度10%、毎授業後のコメント票10%、試験80%の要素を総合的に評価します。	
履修上の留意点		展示会、文化イベント、見本市などに足を運び、実際の場면을体験してください。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)、(2)に関連しています。	
教科書		使用しません。	
参考書・参考資料		「イベント&コンベンション概論」 JTB総合研究所第2版 2010年	
学生との連絡方法		AAAを活用します。	
実務経験科目		実務経験科目に該当する。航空会社ホテル事業部長およびホテル会社執行役員を経験。実務経験をもとに展覧会、国際会議、博覧会、スポーツ、文化イベントなどの多彩なMICE領域について理論と実践の融合を図っている。	

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義・演習	
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目（英名）	コンシェルジュ論(Concierge)						
担当教員名	富樫 文予 (◎は科目責任者)						
<p>〔授業の概要〕 「接客サービスの最高のプロフェッショナル」と称されるフランス発祥のコンシェルジュの歴史・実態を学び、ホテルの枠組みを超えて多種多様な企業産業に配置されている現代日本のホスピタリティ産業の分析をすることで、日本ならではのおもてなしという視点を持ってホスピタリティとは何かを考察します。その学び・考察を基に、課題レポート、プレゼンテーションによる表現を試みます。</p> <p>〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕 この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実績的で柔軟な専門性を修得する科目として位置付けられます。本学の必須科目である「対人関係基礎・応用演習」を基に、ホスピタリティ産業全般にわたる顧客満足をもととしたコミュニケーションについて考え、その最たるコンシェルジュという職種について考察します。元来ホテル特有のサービスであったコンシェルジュが、今や航空、客船、デパート、電鉄、銀行、不動産、保険などの企業産業に進出している背景を学びます。それは取りも直さず、現代日本の産業に求められているサービスとは何かを考えることに他ならないのです。</p> <p>〔到達目標〕 (1) 「コンシェルジュ」の歴史・背景及び、そのプロフェッショナルリズムを理解する。ホスピタリティ産業に全般おける顧客満足をもととしたコミュニケーション力の重要性と方法論を理解する。 (2) 課題に対し、調査・分析および、独自のレポート作成・プレゼンテーションすることができる。</p>							
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者		
1	オリエンテーション、ホテルの概要	事前学修(90分)：ホテルコンシェルジュに関連する資料・記事を読む 事後学修(90分)：ホテルの概要及びホテルコンシェルジュについて復習・理解			富樫		
2	サービス理論の整理と復習-サービスとホスピタリティ	事前学修(90分)：サービス体験発表準備、サービスとホスピタリティの違いを調べる 事後学修(90分)：サービス理論(サービスとホスピタリティ)について復習・理解			富樫		
3	コンシェルジュの仕事① 現役コンシェルジュの実例	事前学修(90分)：サービス体験発表準備、コンシェルジュの仕事について調べる 事後学修(90分)：コンシェルジュの仕事についての課題レポートをユニブルーブより提出			富樫		
4	コンシェルジュの歴史 レ・クレドールについて、その歴史・組織・運営システム	事前学修(90分)：レ・クレドールの組織について調べる 事後学修(90分)：コンシェルジュの歴史・レ・クレドールについて復習・理解			富樫		
5	コンシェルジュの資質	事前学修(90分)：コンシェルジュに必要な資質について調べる 事後学修(90分)：コンシェルジュの資質についての復習・理解			富樫		
6	コンシェルジュの仕事② 欧米のコンシェルジュ	事前学修(90分)：欧米のコンシェルジュの仕事について調べる 事後学修(90分)：欧米のコンシェルジュの仕事について復習・理解			富樫		
7	中間のまとめ	事前学修(90分)：第1～6回の総復習・理解 事後学修(90分)：中間のまとめ課題をユニブルーブより提出			富樫		
8	コンシェルジュの仕事③ ケーススタディ 演習(第11・12・13回)オリエンテーション	事前学修(90分)：コンシェルジュの仕事の各ケースについて事前に調べる 事後学修(90分)：演習ケースの下調べをする			富樫		
9	ホテルとコンシェルジュー同僚・マネジメント・ホテル外の人脈	事前学修(90分)：ホテル内外のコンシェルジュの人脈について調べる 事後学修(90分)：ホテル内外のコンシェルジュの人脈の復習・理解			富樫		
10	コンプレイン・クレーム、ストレス対策	事前学修(90分)：コンプレインとクレームの違いについて調べる 事後学修(90分)：コンプレインとクレーム、ストレス対策についての復習・理解			富樫		
11	(演習)コンシェルジュ体験	事前学修(90分)：演習課題準備 事後学修(90分)：演習後評価作成、AAAより提出			富樫		
12	(演習)コンシェルジュ体験	事前学修(90分)：演習課題準備 事後学修(90分)：演習後評価作成、AAAより提出			富樫		

13	(演習) コンシェルジュ体験	事前学修 (90分) : 演習課題準備 事後学修 (90分) : 演習後評価作成、AAAより提出	富樫
14	サービスとチップ、日本のおもてなしと茶道精神	事前学修 (90分) : 茶道のおもてなし精神について調べる 事後学修 (90分) : サービスとチップ、茶道のおもてなし精神についての復習・理解	富樫
15	コンシェルジュの広がり、旅館・日本のおもてなし	事前学修 (90分) : 旅館のおもてなしについて調べる 事後学修 (90分) : 日本ならではのおもてなし、コンシェルジュの広がりについて、復習・理解	富樫
成績評価の方法と基準		授業参画・フィードバックシート (15%)、課題・試験 (40%)、演習 (45%)	
履修上の留意点		コンシェルジュの出発点となったホテル (宿泊部門) の基本事項を復習しておく必要があります。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本学部のカリキュラム・ポリシー (1)、(2) と関連しています。特に (1) との関与度が高い科目です。	
教科書		なし、適宜資料配付	
参考書・参考資料		池田里香子著『Le Hall 読み継がれるコンシェルジュのバイブル』オータパブリケーション (2009年) 阿部佳著『「お客様の気持ちを読みとく仕事 コンシェルジュ」秀和システム (2015年)』	
学生との連絡方法		AAA、メール、オフィスパワー	
実務経験科目		実務経験科目に該当する。株式会社帝国ホテルに勤務。ホテル統括マーケティング部門・宿泊部門を担当。ゲストリレーションズ支配人などの経験をもとに、ホテルのホスピタリティやそれを支える組織や人材について理論と実践の融合を図っている。	

授業形態	開講学部	サービス経営学部	選択	2単位	講義		
	2年次	開講期	前期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目（英名）	ホテル・フードサービス論（Lodging and Food Service Industry）						
担当教員名	富樫 文予						（◎は科目責任者）
<p>〔授業の概要〕 ホテル産業に関わる基本的な知識の習得、フードサービスの実務知識を習得します。</p> <p>〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕 この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。ホテル経営、レストラン経営の特徴を理解し、ホテルの重要な機能でもあるフードサービスの知識を学び、基本的な仕組みを修得します。</p> <p>〔到達目標〕 (1) ホテルおよびフードサービスの経営形態、社会的機能、使命、人材育成、サービス基準・評価等の特徴を説明できる。 (2) ホテルにおける運営上の課題、人材資源、およびフードサービスにおける食文化の特徴を整理・分析し、適切に表現することができる。 (3) ホテルおよびフードサービス経営の観点から、とりわけ利用者側の視点に立ってサービス品質・事象を考察し問題解決策を検討することができる。</p>							
回	授業計画		授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者		
1	オリエンテーション、シラバス説明		事前学修（90分）：行ったことのあるホテルを具体的に考え出しておく 事後学修（90分）：行ったことのあるホテルのホームページを熟読する		富樫		
2	ホテル概観 ホテルの使命		事前学修（90分）：ホテルの使命にはどのようなものがあるか調べておく 事後学修（90分）：ホテルの使命について確認・理解		富樫		
3	ホテルの機能 ホテル組織		事前学修（90分）：ホテルの機能にはどのようなものがあるか調べておく 事後学修（90分）：ホテルの機能について確認・理解		富樫		
4	ホテルの人材		事前学修（90分）：ホテルにはどのような人材がいるのかを調べておく 事後学修（90分）：ホテルの人材について確認・理解		富樫		
5	ホテルの分類		事前学修：ホテルにはどのような分類があるのかを調べておく 事後学修：ホテルの分類を確認・理解		富樫		
6	外資系ホテル ホテルブランド		事前学修（90分）：外資系ホテルはどのようなホテルがあるのか調べておく 事後学修（90分）：外資系ホテルの特徴を確認・理解		富樫		
7	ホテル経営形態		事前学修（90分）：ホテルの経営にはどのような形態があるのか調べておく 事後学修（90分）：ホテルの経営形態を確認・理解		富樫		
8	中間のまとめ		事前学修（90分）：今までのまとめをしておく 事後学修（90分）：中間のまとめを確認・理解		富樫		
9	レストランの種類		事前学修（90分）：レストランにはどのような種類があるのか調べておく 事後学修（90分）：レストランの種類を確認・理解		富樫		
10	和食の理解		事前学修（90分）：和食の特徴を調べておく 事後学修（90分）：和食の特徴を確認・理解		富樫		
11	和食コース 文化 マナー		事前学修（90分）：和食のコースについて調べておく 事後学修（90分）：和食のコースについて確認・理解		富樫		
12	中華料理 文化 マナー		事前学修（90分）：中華料理について調べておく 事後学修（90分）：中華料理について確認・理解		富樫		
13	フランスコース料理 文化 マナー		事前学修（90分）：フランス料理について調べておく 事後学修（90分）：フランス料理について確認・理解		富樫		
14	フードサービスまとめ		事前学修（90分）：フードサービス全体についてまとめておく 事後学修（90分）：フードサービス全体のまとめを確認・理解		富樫		

15	総まとめ	事前学修 (90分) : 全体をまとめておく 事後学修 (90分) : 全体の確認・理解	富樫
成績評価の方法と基準	授業貢献度 (10%)、毎授業後のコメント票 (10%)、試験 (80%) の要素を総合的に評価します。		
履修上の留意点	ニュースや新聞等で、常日頃から、ホテルやフードサービスのあり方を意識して動向を理解していく習慣をつけることをお勧めします。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの (1) ~ (3) と関連しています。		
教科書	なし		
参考書・参考資料	日本ホテル教育センター「ホテルビジネス (基礎編)」2014年 土井久太郎著「よくわかるホテル業界」日本実業出版社2009年		
学生との連絡方法	AAAを使用します。		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。株式会社帝国ホテルに勤務。ホテル統括マーケティング部門・宿泊部門を担当。ゲストリレーションズ支配人などの経験をもとに、ホテル・フードサービスについて理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義・演習	
	3年次	開講期	後期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目（英名）	広告論（Advertising）						
担当教員名	金澤 良昭 (◎は科目責任者)						
<p>[授業の概要] 本講義では、理論的視点と実務的視点の両面から、広告についての重要なトピックを取り上げて解説していきます。マーケティング活動の一環としての広告を概観した後、広告媒体ごとの特徴、効果、動向等を学びます。加えて広告表現、媒体計画の企画などのグループワークを通して広告の理解を深めてもらいます。また授業では理解が促進できるようDVDなどの映像教材も活用したいと考えています。</p> <p>[科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。ホスピタリティ・ツーリズムコースにおいて情報やメディアといった分野を学ぶための一科目です。広告については、さまざまな学問領域で研究されていますが、この授業においては経営学、マーケティングの視点で説明していきます。</p> <p>[到達目標] (1) 企業が広告を行う目的やプロセス、効果について基本的な内容、メディアと周辺技術の変化が広告に及ぼす影響を理解し説明することができる。 (2) 企業が広告を行う目的やプロセス、効果について分析し、その結果を対象者に合わせて文章と図解によって表現することができる。</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	広告論の基礎となるマーケティング知識 マーケティング・コミュニケーション、マーケティング・ミックス、ブランド			事前学修（90分）：広告やマーケティングに関する参考文献を読む 事後学修（90分）：マーケティング・コミュニケーションの復習		金澤	
2	マーケティング・コミュニケーションの種類、定義、概要			事前学修（90分）：マーケティング・コミュニケーションの種類、定義、概要等に関する予習 事後学修（90分）：マーケティング・コミュニケーションの種類、定義、概要等に関する復習		金澤	
3	広告の概要			事前学修（90分）：広告の概要に関する予習 事後学修（90分）：広告の概要に関する復習		金澤	
4	広告メディア①（テレビ・ラジオ）			事前学修（90分）：広告メディア①に関する予習 事後学修（90分）：広告メディア①に関する復習		金澤	
5	広告メディア②（インターネット・新聞・雑誌・00H）			事前学修（90分）：広告メディア②に関する予習 事後学修（90分）：広告メディア②に関する復習		金澤	
6	広告計画			事前学修（90分）：広告計画に関する予習 事後学修（90分）：広告計画に関する復習		金澤	
7	広告予算と広告効果			事前学修（90分）：広告予算と広告効果に関する予習 事後学修（90分）：広告予算と広告効果に関する復習		金澤	
8	中間のまとめ			事前学修（90分）：既習部分の疑問点整理 事後学修（90分）：既習部分の復習		金澤	
9	セールス・プロモーション			事前学修（90分）：セールス・プロモーションに関する予習 事後学修（90分）：セールス・プロモーションに関する復習		金澤	
10	広告・SP関連の法と規制			事前学修（90分）：広告・SP関連の法と規制に関する予習 事後学修（90分）：広告・SP関連の法と規制に関する復習		金澤	
11	PR			事前学修（90分）：PRに関する予習 事後学修（90分）：PRに関する復習		金澤	
12	インターネットとマーケティング・コミュニケーション①（消費者）			事前学修（90分）：インターネットとマーケティング・コミュニケーション（消費者とクチコミ）に関する予習 事後学修（90分）：インターネットとマーケティング・コミュニケーション（消費者とクチコミ）に関する復習		金澤	
13	インターネットとマーケティングコミュニケーション②（ビジネス）			事前学修（90分）：インターネットとマーケティング・コミュニケーション②（ビジネス）に関する予習 事後学修（90分）：インターネットとマーケティング・コミュニケーション②（ビジネス）に関する復習		金澤	

14	店頭・店舗におけるマーケティング・コミュニケーション	事前学修(90分)：店頭・店舗におけるマーケティング・コミュニケーションに関する予習 事後学修(90分)：店頭・店舗におけるマーケティング・コミュニケーションに関する復習	金澤
15	期末のまとめ	事前学修(90分)：既習部分の疑問点整理 事後学修(90分)：既習部分の復習	金澤
成績評価の方法と基準		毎回の授業における課題(出席コメント票、及びその他の課題など)60%、期末の試験またはレポート課題40%により、総合的に評価します。	
履修上の留意点		特にありません。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)および(2)と関連しています。	
教科書		特にありません。	
参考書・参考資料		毎回の授業時に必要に応じて参考となる文献を案内いたします。	
学生との連絡方法		メールおよびAAA	
実務経験科目		実務経験科目に該当する。電機メーカーに勤務し広告・広報・販売促進などの業務を担当。実務経験をもとに広告について理論と実践の融合を図っている。	

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	3年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目 (英名)	マーチャндаイジング論 (Merchandising)						
担当教員名	小玉 武生 (◎は科目責任者)						
<p>[授業の概要] マーチャндаイジングとは、企業がそのマーケティング戦略に沿って、いかに商品サービスを消費者のニーズに適合した形で提供するか、そのための計画と実行・管理のことです。この授業ではマーチャндаイジングの仕組みからその実践まで体系的に学習します。具体的には、マーチャндаイジング計画の立案、小売業の組織、商品戦略 (商品の構成・選定・調達、サービスの内容)、販売戦略 (価格政策、インスタ・マーチャндаイジング、プロモーション) を柱に、それぞれの小売業の業態特性と経営戦略と結びつけながら順次解説します。特に現代の経営における情報ネットワークの重要性に着目し、情報システム化やロジスティックス (戦略的物流戦略) の現状にも目を向けます。</p> <p>[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー(3)、すなわち、サービス・マネジメントコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。1年次のサービス・マネジメント論を基礎とした、流通サービス領域の専門科目で、流通システム論、リテール・ビジネス論等と併せて履修することで、より広範かつ深いレベルでの理解が可能になります。</p> <p>[到達目標] (1) マーチャндаイジングとはどのようなものか説明することができる。小売業の営業活動の仕組みや実態を説明することができる。POSシステムの役割や仕組み、NB (ナショナル・ブランド) ・PB (プライベート・ブランド) などについての基本的な知識を説明することができる。 (2) ABC分析や利益貢献度分析等基本的な営業分析ができ表現することができる。 (3) 小売業の営業の仕組みを知り、個々の経営を企業戦略の視点から見る眼を養い、表現することができる。</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	講義、評価の方法および科目の特徴 (ガイダンス、コンビニエンス・ストアの成長要因)			事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理		小玉	
2	マーチャндаイジングの体系			事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理		小玉	
3	商品政策の目的と役割			事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理		小玉	
4	最新の流通のトピックス			事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理		小玉	
5	マーチャндаイジング・サイクル			事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理		小玉	
6	ABC分析とパレートの法則			事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理		小玉	
7	カスタマー・リレーションシップ・マネジメント			事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理		小玉	
8	商品の分類、仮説検証経営			事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理		小玉	
9	重要なライフラインとしての小売業			事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理		小玉	
10	利益貢献度分析			事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理		小玉	
11	従来の流通とサプライチェーン・マネジメント			事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理		小玉	
12	POSシステム、PB (プライベート・ブランド) とNB (ナショナル・ブランド)			事前学修 (90分) : 小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修 (90分) : 当該授業の配布資料を読み要点を整理		小玉	

13	重要ポイントのおさらい、課題レポートについて	事前学修（90分）：小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修（90分）：当該授業の配布資料を読み要点を整理	小玉
14	最新の流通のトピックス	事前学修（90分）：小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修（90分）：当該授業の配布資料を読み要点を整理	小玉
15	まとめ・理解度確認テスト	事前学修（90分）：小売業に関する情報を新聞等で調べ要点メモを作成 事後学修（90分）：当該授業の配布資料を読み要点を整理	小玉
成績評価の方法と基準	期末レポート（50%）に加えて、毎回、理解度を確認するために課すコメント票の内容、小テストと授業への参加度（50%）などから総合的に評価します。		
履修上の留意点	毎回時事問題や流通についてのトピックスを取り上げ、皆さんにも考えてもらいます。日頃から日本経済新聞、日経MJ（流通）新聞をよく読み、社会の変化や小売業の動向把握に努め、つねに、その背景にある問題や企業戦略について考える意識を持つことが大切です。必ず要点整理のメモを作成してみましょう。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの（1）（2）（3）と関連しています。特に（1）知識・理解では体系的な学修や多様な学修を通して、サービス経営学を構成する諸科学の学問内容及び方法を理解するという点で重要です。		
教科書	特定の教科書は使用しません。毎回資料を配布します。		
参考書・参考資料	日経MJ（流通）新聞		
学生との連絡方法	授業の前後に相談に応じます。あるいは1号館2Fの研究室を訪ねてください。急ぎの場合はメールをください。		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。株式会社西武百貨店に勤務。婦人服のマーチャンダイジングや商品企画を担当。実務経験をもとにマーチャンダイジングや商品企画について理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目 (英名)	金融論 (Financial Economics)						
担当教員名	松澤 祐介 (◎は科目責任者)						
<p>[授業の概要] 「金融」といえばまず、銀行やコンビニの ATM に馴染みがあることでしょう。金融の仕事はサービス業でもある一方、近年は「仮想通貨 (暗号資産)」や〇〇ペイのような「キャッシュレス」決済、といった「リアルなお金」を用いない、新たな金融とそのサービスの提供も関心を高めています。また、昨年物価が上昇していますが、同じお金で変える量が少なくなってしまう「インフレ」には、金融の面でどのような影響、対策がなされるのでしょうか。この講義では、まず「お金」や銀行の基本的な機能の理解からはじめ、お金の動きは経済にどのような影響を与え、どのようにして支えているのか、経営に必要なお金はどのように調達するのか、を考えます。</p> <p>[科目の位置付け (全学年を通しての関連科目)] この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー (3)、すなわち、グローバル経済コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。金融を経済学的に分析することを通じて、お金とは何か、そして「お金」はどのように使われ、殖え、私たちの生活を豊かにするかを理解することで、サービス経営学部において、サービス業としての金融業を理解する一助とします。</p> <p>[到達目標] (1) サービスの一分野である金融に関する基礎的な知識を獲得し、説明できる。 (2) 金融の知識を通じて、企業の資金調達や、金利の影響など、企業経営や消費行動に関連する分野への連関を表現できる。</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	金融論で学ぶこと：最近の金融に関する話題、金融の基本的な仕組み、金融に関する用語を確認します			事前学修 (90分)：教科書第1章から講義の概要をつかむ 事後学修 (90分)：第1回内容に関するAAA配布課題に取り組む (90分)			
2	金融機関の種類とその業務：サービス業としての金融の位置づけ、金融を担う金融機関の種類、金融機関それぞれの固有業務、付随業務を確認します。			事前学修 (90分)：教科書第7章、第8章該当箇所を読む 事後学修 (90分)：第2回内容に関するAAA配布課題に取り組む (90分)			
3	貨幣の役割と機能：貨幣とは何か、貨幣にはどのような機能があるか、を学びます。			事前学修 (90分)：教科書第2章の該当箇所を読む 事後学修 (90分)：第3回内容に関するAAA配布課題に取り組む			
4	日本の金融史：日本でどのように金融機関や金融市場が発展してきたのか、その展開を明治以降から現代まで学びます。			事前学修 (90分)：教科書第9章該当箇所を読む 事後学修 (90分)：第4回内容に関するAAA配布課題に取り組む			
5	銀行の役割：金融仲介を担う、間接金融としての銀行業を学びます。			事前学修 (90分)：教科書第7章の該当箇所を読む 事後学修 (90分)：第5回内容に関するAAA配布課題に取り組む			
6	金融市場と金利：お金の貸し借りが行われる際の金利、資金が融通される金融市場の機能を学びます。			事前学修 (90分)：教科書の第3章該当箇所を読む 事後学修 (90分)：第6回内容に関するAAA配布課題に取り組む			
7	企業金融と証券市場：企業の資金調達、直接金融としての株式、債券とその市場について学びます。			事前学修 (90分)：教科書の第13章該当箇所を読む 事後学修 (90分)：第7回内容に関するAAA配布課題に取り組む			
8	保険業：生命保険、損害保険の機能、役割を学びます。			事前学修 (90分)：教科書の第12章該当箇所を読む 事後学修 (90分)：第8回内容に関するAAA配布課題に取り組む			
9	金融と情報：「不完全情報」がもたらす問題を金融の観点から学びます。			事前学修 (90分)：教科書の該当箇所を読む 事後学修 (90分)：第9回内容に関するAAA配布課題に取り組む			
10	信用秩序と金融機関監督：お金の流れを担う金融機関への規制、監督について学びます。			事前学修 (90分)：教科書の第11章該当箇所を読む 事後学修 (90分)：第10回内容に関するAAA配布課題に取り組む			
11	中央銀行の機能と役割：貨幣を発行する中央銀行の業務と役割について学びます。			事前学修 (90分)：教科書の第5章該当箇所を読む 事後学修 (90分)：第11回内容に関するAAA配布課題に取り組む			
12	金融政策の理論：中央銀行による金融政策を理論的に考察します。			事前学修 (90分)：教科書の第4章該当箇所を読む 事後学修 (90分)：第12回内容に関するAAA配布課題に取り組む			
13	日本の近年の金融政策の展開：1990年代以降の日本の特異な状況に対する金融政策の展開を学びます。			事前学修 (90分)：教科書の第6章該当箇所を読む 事後学修 (90分)：第13回内容に関するAAA配布課題に取り組む			
14	資金循環：日本の資金循環の現状と課題を検討します。			事前学修 (90分)：教科書の第11章該当箇所を読む 事後学修 (90分)：第14回内容に関するAAA配布課題に取り組む			
15	あらたな金融の展開：Covid-19パンデミック下での金融事業、暗号通貨 (仮想通貨) などのいわゆるFinTechについての現状と展望、を学びます。			事前学修 (90分)：教科書の第2章、第15章該当箇所を読む 事後学修 (90分)：AAAで配布される全体のまとめとなる演習問題に取り組む			

成績評価の方法と基準	授業で課される講義内容に関する課題（50%）、試験（50%）で評価します。
履修上の留意点	
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの（1）（3）と関連しています。特に、金融の基礎知識から、（3）が実践に積極的に活用されることが期待されます。
教科書	家森信善 『ベーシック+金融論（第3版）』 中央経済社 2022年
参考書・参考資料	
学生との連絡方法	AAAを活用します。
実務経験科目	実務経験科目に該当する。日本銀行に勤務。金融政策運営、金融市場、外為市場、企業動向の調査等に従事。実務経験をもとに、銀行業、金融政策運営、金融市場について理論と実践の融合を図っている。

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目（英名）	国際金融論（International Finance）						
担当教員名	松澤 祐介 (◎は科目責任者)						
<p>〔 授業の概要 〕 サービスの現場や経営を今後担っていく諸君に、海外企業や顧客との取引・「お金」の移動に関係する仕事に就いたとき、その基礎となる知識を身に付けることが狙いです。新型コロナウイルス感染症の問題が生じるまで訪日観光客のブームが続きましたが、これは近年の日本のお金「円」と外国のお金との関係、すなわち外国為替市場で円安が進んだこととも関係していました。この円安は、昨年の夏からさらに進んで、久しぶりに海外旅行に出た日本人観光客は、海外の物価高に困惑したといえます。逆に、例えばアメリカ合衆国のお金ドルと円の関係が、1ドル=100円から1ドル=90円、つまり「円高」になれば、1ドルのものを10円安く私たちは買えることになり、輸入品を安く買えるようになって、輸入品を扱う/使う業種は繁盛し、海外旅行が有利になることでしょう。このように、日本のお金と外国のお金の関係＝外国為替市場の変動はサービス業の経営にも大きな影響をもたらします。この講義を受講することで世界にはどのようなお金があるのか、という基礎的な知識から、為替相場の変動の理論、その影響、世界的なお金の流れについて説明できるようになり、グローバルに展開するサービス業の現場で従事する際の一助になる講義です。</p> <p>〔 科目の位置付け（全学年を通しての関連科目） 〕 この科目は、本学部のカリキュラム・ポリシー（3）、すなわち、グローバル経済コースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目として位置づけられます。国際金融論は「経済学」「金融論」の応用科目の一つです。本講義では金融経済に関するより発展的な知識を修得します。</p> <p>〔 到達目標 〕 国際金融に関わる基本的な知識を修得し、特に為替レートに関する仕組み、決定要因及び通貨制度についての基本的な内容を説明できる。国際金融に関連した経済現象について、それがサービス業をはじめ、産業や経済に及ぼす影響及び効果を国際金融の理論的な知識に基づき考察し説明できる。</p>							
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者		
1	国際金融で学ぶこと：講義の全体像、国際金融に関する基本的な枠組み	事前学修（90分）：教科書の「はじめに」の箇所を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第1回の内容の復習課題に取り組む。					
2	世界の通貨：主要国の通貨に関する基礎知識	事前学修（90分）：AAAに掲載する主要国通貨の資料を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第2回の内容の復習課題に取り組む。					
3	世界の通貨：途上国の通貨に関する基礎知識	事前学修（90分）：AAAに掲載する途上国通貨に関する資料を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第3回の内容に関する復習課題に取り組む。					
4	外国為替の仕組み：外国送金、海外との決済制度	事前学修（90分）：教科書第1章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第4回の内容の復習課題に取り組む。					
5	外国為替相場：外国為替相場の基本的な仕組み	事前学修（90分）：教科書第2章、第4章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第5回の内容の復習課題に取り組む。					
6	外国為替市場：外為市場の制度、取引	事前学修（90分）：教科書第3章、第4章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第6回の内容の復習課題に取り組む。					
7	国際収支：国際収支表の見方、仕組み	事前学修（90分）：教科書第5章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第7回の内容の復習課題に取り組む。					
8	外国為替の決定理論	事前学修（90分）：教科書第6章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第8回の内容の復習課題に取り組む。					
9	国際金融と経済政策：国際マクロ経済学の基本	事前学修（90分）：教科書第7章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第9回の内容の復習課題に取り組む。					
10	国際通貨制度：IMF等の国際金融機関、通貨当局の機能と役割	事前学修（90分）：教科書第8章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第10回の内容の復習課題に取り組む。					
11	国際通貨制度の変遷：金本位制から現在までの展開	事前学修（90分）：教科書第8章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第11回の内容の復習課題に取り組む。					

12	通貨統合：ヨーロッパの共通通貨ユーロ	事前学修（90分）：教科書第9章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第12回の内容の復習課題に取り組む。	
13	国際資本移動：その経済的な成果と問題点	事前学修（90分）：教科書第10章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第13回の内容の復習課題に取り組む。	
14	通貨危機と政策対応：アジア通貨危機、グローバル金融危機、ユーロ危機とその対応	事前学修（90分）：教科書第11章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する第14回の内容の復習課題に取り組む。	
15	国際金融・通貨制度の展望：元の国際化、FinTechの影響	事前学修（90分）：教科書第12章を熟読する。 事後学修（90分）：AAAに掲載する講義全体の内容に関する復習課題に取り組む。	
成績評価の方法と基準		試験の成績（50%）と講義の復習のための提出課題（50%）で評価します。	
履修上の留意点			
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシーの（1）、（3）と関連しています。特に国際金融、外国為替の仕組みを自ら考える能力を身に着けることが求められます。	
教科書		西村陽造他『新・国際金融のしくみ』有斐閣 2020年	
参考書・参考資料			
学生との連絡方法		AAAを活用します。	
実務経験科目		実務経験科目に該当する。日本銀行に総合職として勤務。国際局、調査統計局、企画室等で金融政策、金融市場等に関する調査を担当。実務経験をもとに国際金融の仕組み、政策対応等について話をします。	

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	前期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目（英名）	観光サービス論（Tourism Industry）						
担当教員名	波瀾 郁代 (◎は科目責任者)						
<p>〔授業の概要〕 観光は、異なる背景を持つ人、国、地域の相互理解を促し、歴史や文化を知る機会を提供し、そして経済効果をもたらすなど幅広い影響力を持っており、これを支えているのが観光産業です。観光産業が世界全体に占めるGDP（国内総生産）の貢献額および雇用は、新型コロナ直前まで共に10%を超えていました。日本は国をあげて観光振興が推進された結果、2019年の訪日外客数は3,188万人、旅行収支の黒字は世界6位の250億米ドルでした。コロナ禍で観光産業は打撃を受けたものの現在は本格的な回復が進んでいます。 本授業では、観光におけるサービスを提供するという視点にたち、①現代社会における観光の意義②観光サービスおよびそれに関わる事業体の理解③観光が現在抱える課題や未来の姿について理解することを目指します。</p> <p>〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕 本科目は、本学部のカリキュラムポリシー(3)、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目に位置付けられます。観光サービスの本質的な理解により、利便性や合理性が追求される現代社会において、心豊かに暮らすとはどういうことか、そのために必要なことや省力化すべきことを考えるための基礎知識を得ることを目指します。</p> <p>〔到達目標〕 (1)観光とは何か、基礎的知識を習得し、観光が社会や人々にもたらす影響について語ることができる (2)観光に関するビジネスの現状を理解し、今後のあり方について自分の意見を持ち、説明することができる (3)観光産業が抱える課題について観光学の観点から考察し、課題解決を検討することができる。</p>							
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者		
1	本講義の紹介	事前学修(90分)：シラバスを読み、この授業の方式・内容を確認する 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
2	現代社会における観光の意義と波及効果	事前学修(90分)：観光白書の指定したページを読む 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
3	観光の基本的なしくみ① ～観光を構成する要素～	事前学修(90分)：観光旅行の経験を詳細に書き出し、関わる人や物事について整理する 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
4	観光の基本的なしくみ② ～観光サービスに関わる言葉～	事前学修(90分)：観光旅行をするときに受けたサービスと接点を整理する 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
5	観光産業の構成と特徴	事前学修(90分)：どのような観光サービスに関わったことがあるかについての回答の作成 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
6	観光ビジネス① ～旅行業～	事前学修(90分)：旅行社のウェブサイトを見学 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
7	観光ビジネス② ～宿泊業～	事前学修(90分)：宿泊施設(ホテル・旅館)の公式サイトおよび宿泊施設予約専用サイト(OTA)を見る 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
8	観光ビジネス③ ～交通運輸業～	事前学修(90分)：旅行における交通手段の整理と代表的な会社の公式サイトを見る 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
9	観光ビジネス④ ～観光情報編集～	事前学修(90分)：旅行情報を取得できる媒体を書き出す 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
10	観光政策と観光行政	事前学修(90分)：国や地方自治体で観光に関わるサイトを探してみる 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
11	着地型観光の概要	事前学修(90分)：着地型観光プランの情報収集 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		

12	観光動向①国際観光と世界の観光ビジネス	事前学修(90分):観光白書およびUNWTOの指定した資料を読む 事後学修(90分):講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
13	観光動向②国内観光の現状と新型コロナの影響	事前学修(90分):観光白書の指定した部分を読む 事後学修(90分):講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
14	持続的な観光のあり方について	事前学修(90分):観光が与える悪い影響や観光が不可能になる事態を各種ニュースサイトから探し出す 事後学修(90分):講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
15	本講義のまとめと期末レポートについての説明	事前学修(90分):本講義から得られた知見についての洗い出し 事後学修(90分):講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
成績評価の方法と基準		学習意欲の把握を行うものとして出席とフィードバックシート(50%)、期末レポート(50%)	
履修上の留意点		観光サービスを提供する事業主体の中から1つでも興味関心を持ち、普段から身近なものとして注目し、疑問や意見を自らの言葉で表現することを期待します。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)~(3)に関連します。観光サービスに関わる知識を得て、観光にかかわる身近な現象について気づき、考察する力を有していただきたいと思います。	
教科書		使用しません。	
参考書・参考資料		JTB総合研究所『観光学基礎』2021年版など、適宜資料を紹介します。	
学生との連絡方法		AAAやメールを用いて連絡を取ります。	
実務経験科目		実務経験科目に該当する。株式会社JTBおよび株式会社JTB総合研究所に勤務。旅行商品の販売促進、広報実務、観光マーケティングに従事。JTBが50年以上発表し続けている、夏休み、年末年始、年間の旅行推計を15年以上担当。生活者のライフスタイルや価値観の変化による観光の変化を研究するとともに、国や自治体の交通政策や自治体の総合計画や観光ビジョンの有識者委員や公的団体のまちづくりの専門官を務めた。実務経験をもとに、観光サービスの理論と実践の融合を図っている。	

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	3年次	開講期	後期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目（英名）	観光まちづくり論（Tourism and Community Design）						
担当教員名	波瀾 郁代 (◎は科目責任者)						
<p>〔 授業の概要 〕 日本の総人口は2008年をピークに減少に転じるとともに、総人口に占める65歳以上の高齢者の割合は2022年現在で29.1%に達しています。特に人口流出の大きい地方部における活力の低下は喫緊の課題です。持続可能な地域のあり方にローカル経済圏の形成は不可欠で、その下地となるのが産業振興とまちづくりです。近年は、まちづくりに観光の視点が取り入れられ、地域が主体となり、自然、文化、産業、人とあらゆる地域の資源を活かす観光まちづくりの取り組みが各地で進んでいます。 本授業では、「住んでよし、訪れてよし」、つまり「自らの地域を愛し、誇りをもって暮らしているならば自ずと誰しもが訪れたいくなる」を前提に、観光まちづくりを地域の課題解決にどう結び付けることができるのか、事例とともに解説します。その後、特定地域について課題の可視化と観光まちづくり案の構想を自由に考え、授業内で共有します。</p> <p>〔 科目の位置付け（全学年を通しての関連科目） 〕 本科目は、本学部のカリキュラムポリシー(3)、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目に位置付けられます。課題先進国といわれる日本社会において、地域住民と訪問者の両者が豊かになるまちづくりに必要な基礎知識を得ながら、自らの関心度を深めることを目指します。</p> <p>〔 到達目標 〕 (1) 日本が抱える社会課題を理解し、「住んでよし、訪れてよし」の状態はどういうことなのか持論を展開できる。 (2) 観光まちづくりの事例を通して、観光の視点を活用した地域活性化を提案できる。 (3) 観光の課題を地域の観光以外の資源を活かして融合した観光振興の提案ができる。</p>							
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者		
1	本講義の紹介	事前学修(90分)：シラバスを読み、この授業の方式・内容を確認する 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
2	現代日本の抱える課題と観光政策・観光行政	事前学修(90分)：各種資料や報道などから構造的な課題を把握 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
3	日本社会と観光まちづくり① ～マストツーリズムと観光開発の時代～	事前学修(90分)：周囲の年長者の旅行経験を聞き、まとめる 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
4	日本社会と観光まちづくり② ～地方行政と観光政策・観光振興～	事前学修(90分)：総合計画・観光振興計画を読む。「DMO」の意味と具体的な取り組みについて調べる 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
5	日本社会と観光まちづくり③ ～観光まちづくりとホスピタリティ、支える人材について～	事前学修(90分)：総合計画・観光振興計画を読む。「地域おこし協力隊」の資料を読む 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
6	日本社会と観光まちづくり④ ～生活者と旅行・観光のあり方の変化～	事前学修(90分)：住んでいる場所近くで買い物やレジャーなど、よく行く場所、気になる場所を書きだす 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
7	ケーススタディから学ぶ（新潟県三条市・燕市）① ～地域の現状把握とあらたな資源について～	事前学修(90分)：指定地域の資料や公式サイトを見る 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
8	ケーススタディから学ぶ（新潟県三条市・燕市）② ～産業観光と地域のプレイヤー～	事前学修(90分)：指定地域の資料や公式サイトを見る 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
9	ケーススタディから学ぶ（新潟県三条市・燕市）③ ～マーケティングとまちづくり～	事前学修(90分)：指定地域の資料や公式サイトを見る。関連データを集める 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		
10	地域の観光資源について考える	事前学修(90分)：特定地域の観光資源について調べる 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波瀾 郁代		

11	観光まちづくり案を構想する上のポイント説明	事前学修(90分)：地域の観光情報の収集方法把握、どんなデータがあるか探す 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
12	観光まちづくり案を考える①	事前学修(90分)：観光まちづくり案を構想し、発表準備する 事後学修(90分)：授業中のディスカッションを踏まえて発表準備を進める	波潟郁代
13	観光まちづくり案を考える②	事前学修(90分)：観光まちづくり案を構想し、発表準備する 事後学修(90分)：授業中のディスカッションを踏まえて発表準備を進める	波潟郁代
14	観光まちづくり案を考える③	事前学修(90分)：観光まちづくり案を構想し、発表準備する 事後学修(90分)：授業中のディスカッションを踏まえて発表準備を進める	波潟郁代
15	観光まちづくり案を発表する/本講義のまとめ	事前学修(90分)：観光まちづくり案を構想し、発表準備する 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら授業内容を復習する	波潟郁代
成績評価の方法と基準		学習意欲の把握を行うものとして出席およびフィードバックシート(50%)、発表課題(積極性、アイデアの新規性、発表内容から評価します(50%))	
履修上の留意点		現代の社会の課題にはたった1つの正解が決まっているわけではありません。臆することなく、議論、質問、課題への取り組みを期待します。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(2)、(4)に関連します。本講義で学んだ経験を活かし、地域の課題に関心を持ち、身近な現象について気づき、考察する力を有していただきたいと思います。	
教科書		使用しません。	
参考書・参考資料		授業内で随時紹介します。	
学生との連絡方法		AAAやメールを用いて連絡を取ります。	
実務経験科目		実務経験科目に該当する。株式会社JTBおよび株式会社JTB総合研究所に勤務。旅行商品の販売促進、広報実務、観光マーケティングに従事。JTBが50年以上発表し続けている、夏休み、年末年始、年間の旅行推計を15年以上担当し、生活者のライフスタイルや価値観の変化を研究するとともに、自治体の総合計画や観光ビジョンの有識者委員や公的団体のまちづくりの専門官を務めた。実務経験をもとに、観光まちづくりの特性について理論と実践の融合を図っている。	

授業形態	開講学部	サービス経営学部	選択	2単位	講義		
	3年次	開講期	前期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目（英名）	観光資源論（Tourism Resources）						
担当教員名	波潟 郁代						（◎は科目責任者）
<p>〔 授業の概要 〕 日本経済が上向き、レジャーに関心が高まり始めた時代の観光先といえば、名所旧跡や自然、温泉に代表される有名観光地が主流で、旅行者の「行く場所、見るもの、食べるもの」の行動は画一的でした。しかし、社会が成熟化し、デジタル化による技術革新、ライフスタイルの変化とともに、旅行者の価値観や志向は多様化し、旅行に誘う観光資源も様々に広がってきました。今では、地域に根ざした伝統工芸や地場産業、そこに暮らす人々の生活文化も魅力的な観光資源となり、以前は観光地と思われなかった場所にも多くの人が来訪するようになりました。本講義では、観光資源の基礎を理解した上で、観光資源の潮流と現状の課題をとらえます。また、各地域の魅力を掘り起こし、どんなポイント本を誰に、どのように伝えようと効果的なのか事例をもとに考える力を身につけることを目指します。</p>							
<p>〔 科目の位置付け（全学年を通しての関連科目） 〕 本科目は、本学部のカリキュラムポリシー(3)、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目に位置付けられます。観光の状況を客観的に把握し、現状の課題や変化を見出せるよう、観光を取り巻く社会とのつながりを理解し、俯瞰力を身につけます。</p>							
<p>〔 到達目標 〕 (1) 観光資源の基礎知識を理解する。観光資源としての価値や人を惹きつけるものは何か、各地の観光資源を事例に説明できる。 (2) 持続可能な観光のための観光資源に関わる現代の課題について理解する。各地でどのような取り組みがなされているか把握し、体系的に説明ができる。</p>							
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者		
1	本講義の紹介	事前学修(90分)：シラバスを読み、この授業の方式・内容を確認する 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波潟郁代		
2	観光のしくみと観光資源の基本的考え方	事前学修(90分)：自らの観光旅行の経験について、動機、目的、行動の視点で整理する 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波潟郁代		
3	世界の観光資源の動向	事前学修(90分)：世界の観光地に関する知識についての回答の作成 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波潟郁代		
4	日本の観光資源の動向① ～基本的な考え方と代表例を知る～	事前学修(90分)：日本の観光地の知識についての回答の作成 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波潟郁代		
5	日本の観光資源の動向② ～世界からみた日本への旅行の魅力～	事前学修(90分)：海外からみた日本のイメージや日本への旅行意向の意識調査の資料を読む 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波潟郁代		
6	観光政策や旅行のあり方の変化と観光資源	事前学修(90分)：観光政策に関する資料や観光庁のサイトを見る 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波潟郁代		
7	日本人の韓国旅行をテーマに、観光資源と訴求する旅行者層の調査・発表	事前学修(90分)：韓国や韓国旅行に関わる媒体(雑誌、ガイドブック、ウェブサイト)を調べる 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波潟郁代		
8	観光資源とサステナビリティ	事前学修(90分)：持続的な観光に関する政策資料や意識調査を読む 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波潟郁代		
9	観光資源のマネジメント① ～事例から 従来の有名観光地の進化～	事前学修(90分)：事例となる地域の旅行情報サイトを見て整理する 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波潟郁代		
10	観光資源のマネジメント② ～事例から 新たな観光資源で交流創出～	事前学修(90分)：事例となる地域の旅行情報サイトを見て整理する 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する			波潟郁代		

11	観光資源と歴史まちづくり① ～川越市の事例について調査・発表～	事前学修(90分)：川越市の街並みや旅行の資料を調査する 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
12	観光資源とまちづくり ② ～狭山市の観光活性化について調査・発表①～	事前学修(90分)：狭山市の情報を調査するとともに、日本全国で狭山市と似たような地域を探す 事後学修(90分)：発表内容をまとめる	波潟郁代
13	観光資源とまちづくり③ ～狭山市の観光活性化について調査・発表②	事前学修(90分)：発表内容をまとめる 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
14	地域の観光資源の編集と情報発信、旅行者の情報取得の変化について	事前学修(90分)：読んだことのある情報媒体やSNSなどを整理し、回答を作成 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
15	本講義のまとめと期末レポートについての説明	事前学修(90分)：これまでの講義で得られた知見についての回答 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
成績評価の方法と基準		授業への参加度(リアクションペーパーおよび課題発表から評価します)…60% 期末レポート…40%	
履修上の留意点		授業内容に関する積極的な回答や質問、事前・事後学修への意欲的な取り組みを期待します。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシー(1)、(2)と関連しています。とくに観光資源に関わる考え方を学ぶことで、自らの興味がある観光資源や現代の観光資源のトレンドについて客観的に考察・説明する能力を身につけることが重要です。	
教科書		使用しません。	
参考書・参考資料		適宜紹介します。	
学生との連絡方法		AAAやメールを用いて連絡を取ります。	
実務経験科目		実務経験科目に該当する。株式会社JT Bおよび株式会社JT B総合研究所に勤務。旅行商品の販売促進、広報実務、観光マーケティングに従事。JT Bが50年以上発表し続けている、夏休み、年末年始、年間の旅行推計を15年以上担当。生活者のライフスタイルや価値観の変化による観光の変化を研究するとともに、自治体の総合計画や観光ビジョンの有識者委員や公的団体のまちづくりの専門官を務めた。実務経験をもとに観光資源の理論と実践の融合を図っている。	

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	グループワーク・講義	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	有	学外授業	無
授業科目（英名）	観光実務論（Practices in Tourism Business）						
担当教員名	波潟 郁代 (◎は科目責任者)						
<p>〔 授業の概要 〕 観光庁が2008年に設立された際、観光立国を目指し、観光振興を推進するために最初に整備されたのが「観光統計」でした。訪日外国人旅行者が増加し、観光形態や観光地が変容する中、国や自治体だけではなく、観光関連の企業が事業を推進し、観光客数や売上を拡大するには、観光の現状を客観的に把握すること、旅行者の姿を知る、そして自己分析することが必要です。その指標となるのが観光統計や意識調査による様々なデータです。 本講義では、観光の現状把握に必要な統計を理解していただきながら、各種データからコロナ禍前後の観光動向と旅行者の動きについて解説します。グループ学習では特定地域のデータをもとに、現状把握と課題の抽出、解決策をまとめ、発表していただきます。</p> <p>〔 科目の位置付け（全学年を通しての関連科目） 〕 この科目は、本学部のカリキュラムポリシー(3)、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目に位置付けられます。観光の現状をデータに基づき客観的に把握し、現状の課題や変化を見出す、また、観光を取り巻く社会とのつながりを理解し、俯瞰力を身につけます。</p> <p>〔 到達目標 〕 (1) 旅行・観光の現状把握や課題の抽出に必要な情報を、身近な情報やニュース、統計データなどから選択肢、絞り込み、他者が理解できるように説明できる。 (2) 観光統計や意識調査など様々なデータの種類と活用方法を知る。データから旅行者の姿や観光の現状を理解し、課題を見つけことができる。課題を解決するための仮説を論じることができる。</p>							
回	授業計画	授業外学修 (事前学修・事後学修)			担当者		
1	講義ガイダンス	事前学修(90分)：観光統計のある資料を読む 事後学修(90分)：観光統計からわかることを考える			波潟郁代		
2	「旅行動向見通し（JTBによる旅行推計）」を読み解く	事前学修(90分)：「旅行動向」で使用されている統計を書きだす 事後学修(90分)：授業で使用した各統計から分かることを復習する			波潟郁代		
3	観光統計と旅行者行動	事前学修(90分)：旅行者の行動を知る 事後学修(90分)：授業で使用した各統計から分かることを復習する			波潟郁代		
4	観光の現状把握に必要な統計を理解する①	事前学修(90分)：観光統計を探し、意識調査を読む 事後学修(90分)：観光統計からわかることを考える			波潟郁代		
5	観光の現状把握に必要な統計を理解する②	事前学修(90分)：観光統計がどのように作成されるか調べる 事後学修(90分)：観光統計からわかることを知る			波潟郁代		
6	観光の現状把握に必要な統計を理解する③	事前学修(90分)：コロナ前後の観光統計と意識調査を読み、事前質問に回答する 事後学修(90分)：観光統計①～③の復習と観光統計から分からないことを知る			波潟郁代		
7	観光立国とインバウンド（国や自治体の政策やしぐみを理解する）①	事前学修(90分)：国や自治体の観光組織と政策を理解する 事後学修(90分)：インバウンドの推移をグラフ化する			波潟郁代		
8	観光立国とインバウンド（国や自治体の政策やしぐみを理解する）②	事前学修(90分)：統計データからインバウンドについて都道府県の比較をする 事後学修(90分)：都道府県の取り組みとデータの関連性を復習する			波潟郁代		
9	観光立国とインバウンド（国や自治体の政策やしぐみを理解する）②	事前学修(90分)：統計が使用されるインバウンドのニュースを読み、事前質問に回答する 事後学修(90分)：観光立国とインバウンドの動きの全体の復習			波潟郁代		
10	グループワーク①（地域の現状と課題をデータから見出す）①	事前学修(90分)：グループワークで調べたい観光地を探す 事後学修(90分)：調べたい内容をまとめる			波潟郁代		
11	グループワーク②（地域の現状と課題をデータから見出す）②	事前学修(90分)：対象地の観光統計を探す 事後学修(90分)：調べたい内容をまとめる			波潟郁代		
12	グループワークのまとめ発表①	事前学修(90分)：発表内容をまとめる 事後学修(90分)：発表内容をまとめる			波潟郁代		
13	グループワークのまとめ発表②	事前学修(90分)：発表内容をまとめる 事後学修(90分)：発表内容をまとめる			波潟郁代		

14	グループワークのまとめ発表③	事前学修 (90分) : 発表内容をまとめる 事後学修 (90分) : 発表内容をまとめる	波潟郁代
15	講義のまとめ	事前学修 (90分) : これまでの講義内容を復習する 事後学修 (90分) : 講義内容をまとめる	
成績評価の方法と基準	学習意欲の把握を行うものとしてフィードバックシート (30%)、グループワークでの取り組み (30%)、期末試験 (40%)		
履修上の留意点	本講義はただ話を聞くだけでなく、自らデータを読み説き、グループワークで課題と解決策の仮説を出す作業を行います。1つの正解を求めるための講義ではありませんので、考えることを楽しもうと思える積極的な学生の受講を期待します。		
ディプロマ・ポリシーとの関連	本科目は、サービス経営学部ディプロマ・ポリシーの(1)、(2)に関連します。特に観光動態を自ら調べ、理解することが重要です。		
教科書	使用しません。		
参考書・参考資料	適宜、紹介します。		
学生との連絡方法	AAAやメールを用いて連絡をとります。		
実務経験科目	実務経験科目に該当する。株式会社JTBおよび株式会社JTB総合研究所に勤務。旅行商品の販売促進、広報実務、観光マーケティングに従事。JTBが50年以上発表し続けている、夏休み、年末年始、年間の旅行推計を15年以上担当。コロナ禍の3年間における旅行の変化を各種データや意識調査から研究した。実務経験をもとに、観光実務の理論と実践の融合を図っている。		

授業形態	開講学部	サービス経営学部		選択	2単位	講義	
	2年次	開講期	後期	ディスカッション	無	学外授業	無
授業科目（英名）	ニューツーリズム論（New Tourism）						
担当教員名	波瀾 郁代 (◎は科目責任者)						
<p>〔授業の概要〕</p> <p>ニューツーリズムとは、名所旧跡や景勝地を訪問する従来型の観光旅行ではなく、テーマ性の強い体験型の新しいタイプの観光やしぐみをいいます。観光庁は現在、「ニューツーリズムの振興」を「テーマ別観光による地方誘客事業」として展開しています。日本の観光旅行の広がりや、第二次世界大戦後、経済成長により生活が豊かになりレジャー志向が高まったことに端を発します。当時、観光は名所旧跡、自然やリゾート、テーマパークなどが中心でした。その後、社会の変化とともに人々の趣味や娯楽が多様化し、旅行者の志向や観光スタイルも多様化、細分化してきました。一方で地域側も旅行者の志向の変化を察知するとともに観光を地域の産業や生活文化と結びつけ、様々なテーマで誘客提案を行うようになりました。</p> <p>本講義は、旅行・観光の意義やあり方の変化を旅行者と地域側の両面から概観し、なぜ、ニューツーリズムの振興が広がったのか、代表的なテーマ別観光についての特徴について、地域との関係とともに解説します。</p>							
<p>〔科目の位置付け（全学年を通しての関連科目）〕</p> <p>本科目は、本学部のカリキュラムポリシー(3)、ホスピタリティ・ツーリズムコースの実践的で柔軟な専門性を修得する科目に位置付けられます。旅行者の志向や旅行・観光スタイルは常に変化し、観光にかかわるプレイヤーも観光事業者以外に多岐に渡るようになりました。講義を通じて、観光が時代の変化に対応し、旅行者や地域側双方にとってのニーズの変化にどう応えていくべきかを考える機会とします。</p>							
<p>〔到達目標〕</p> <p>(1) 旅行者の志向や旅行・観光のあり方の変化を理解し、現在とその先について持論を展開できる。</p> <p>(2) 代表的なニューツーリズム（テーマ別観光）の特徴や地域との関係を説明できる。</p>							
回	授業計画			授業外学修 (事前学修・事後学修)		担当者	
1	本講義の紹介			事前学修(90分)：シラバスをよく読み、この授業の方法・趣旨を確認する 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する		波瀾 郁代	
2	観光の現状についての概説			事前学修(90分)：『観光白書』の指定したページを読む 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する		波瀾 郁代	
3	観光の基本的な仕組みと主体者			事前学修(90分)：観光旅行をするときに私たちが関わる人や物事についての回答の作成 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する		波瀾 郁代	
4	旅行・観光の歴史① ～ニューツーリズム前夜、経済成長と「マス・ツーリズム」の時代～			事前学修(90分)：マス・ツーリズムの意味と具体例についての回答の作成 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する		波瀾 郁代	
5	旅行・観光の歴史② ～個人化、多様化の始まりとニューツーリズム～			事前学修(90分)：過去と現在の旅行の宣伝広告を比較、感想を回答する 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する		波瀾 郁代	
6	旅行・観光の歴史③ ～旅行者を知る：世代別の特徴と旅行・観光スタイルの違い～			事前学修(90分)：周囲の年長者に若い頃と現在の旅行経験を多く聞き、整理する 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する		波瀾 郁代	
7	代表的なテーマ別観光① ～ヘルスツーリズム～			事前学修(90分)：～ヘルスツーリズムに関する資料やサイトを見る～ 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する		波瀾 郁代	
8	代表的なテーマ別観光② ～現代ロックフェスとツーリズム～			事前学修(90分)：コンサート・音楽ライブに関する回答の作成 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する		波瀾 郁代	
9	代表的なテーマ別観光② ～コンテンツコンテンツ・ツーリズム：映画・アニメのロケ地～			事前学修(90分)：メディア作品に出てきた場所についての回答の作成 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する		波瀾 郁代	
10	韓国の文化政策（韓流ブーム）からみる日本人の韓国旅行①			事前学修(90分)：韓国の代表的な映画やドラマを年代別に調べる。 事後学修(90分)：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する		波瀾 郁代	

11	韓国の文化政策（韓流ブーム）からみる日本人の韓国旅行②	事前学修（90分）：韓国および台湾に関する観光情報をサイト、ガイドブックから探して比較 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
12	シェアリングエコノミーと観光ビジネスの変化 ～宿泊施設の多様化：民泊、ゲストハウス、テーマ別宿泊施設～	事前学修（90分）：Airbnbのリスティングを日本・海外両方検索する 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
13	住民ガイドによるまちあるき観光	事前学修（90分）：全国でどのような街歩き観光があるかについての回答の作成 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
14	代表的なテーマ別観光③復興ツーリズム	事前学修（90分）：東北地区の東日本大震災からの復興に関わるツーリズムを調べる 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
15	本講義のまとめと期末レポートについての説明	事前学修（90分）：本講義から得られた知見についての洗い出し 事後学修（90分）：講義資料とノートを確認しながら課題に回答し、授業内容を復習する	波潟郁代
成績評価の方法と基準		授業への参加度（リアクションペーパーおよび課題から評価）・・・50% 期末レポート・・・50%	
履修上の留意点		授業内容に関する積極的な回答や質問、事前・事後学修への意欲的な取り組みを期待します。	
ディプロマ・ポリシーとの関連		本科目は、サービス経営学部ディプロマポリシー(1)～(3)と関連しています。とくにニューツーリズム（テーマ別観光）の様々な事例を幅広く学び、旅行者の求めているもの、観光事業者のサービスやホスピタリティについて理解することが重要です。	
教科書		使用しません。	
参考書・参考資料		適宜紹介します。	
学生との連絡方法		AAAやメールを用いて連絡を取ります	
実務経験科目		実務経験科目に該当する。株式会社JTBおよび株式会社JTB総合研究所に勤務。旅行商品の販売促進、広報実務、観光マーケティングに従事。JTBが50年以上発表し続けている、夏休み、年末年始、年間の旅行推計を15年以上担当。生活者のライフスタイルや価値観の変化による観光の変化を研究するとともに、自治体の総合計画や観光ビジョンの有識者委員や公的団体のまちづくりの専門官を務めた。実務経験をもとにニューツーリズムの特性について理論と実践の融合を図っている。	